

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Pembrolizumab+EC 療法

3週毎 4コース予定

【周術期】乳癌

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

	day1
キイトルーダ(ペムブロリズマブ) 200 mg/body	↓
エピルビシン 90 mg/m ²	↓
エンドキサン(シクロホスファミド) 600 mg/m ²	↓

- 【注意】 *エピルビシンの総投与量は900 mg/m²を超えないこと
 *ペムブロリズマブはインラインフィルター(0.2または0.22 μm)を使用すること
 *他剤使用時はペムブロリズマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day 1 抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル125 mg 1C 内服

- | | | | |
|---|-----------------------|---|----------------------------------|
| ① | 生食500 mLにて血管確保 | | 維持(20 mL/時間) |
| ② | キイトルーダ200 mg | + | 生食50 mL 点滴静注30分(100 mL/時間) |
| | ◎メインの生食でフラッシュ | | |
| ③ | パロノセトロン0.75 mg | + | 生食20 mL 側管静注 |
| ④ | デキサメタゾン9.9 mg | + | 生食20 mL 側管静注 |
| ⑤ | エピルビシン | + | 生食50 mL 点滴静注5分(600 mL/時間) |
| ⑥ | エンドキサン | + | 生食100 mL 点滴静注60分(100 mL/時間) |
| | ◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ | | |

day 2 - 3 アプレピタントカプセル80 mg 内服

	1コース	2コース	3コース	4コース
月日	/	/	/	/
キイトルーダ 開始時刻	↓	↓	↓	↓
エピルピシン 開始時刻	↓	↓	↓	↓
エンドキサン 開始時刻	↓	↓	↓	↓
確認				